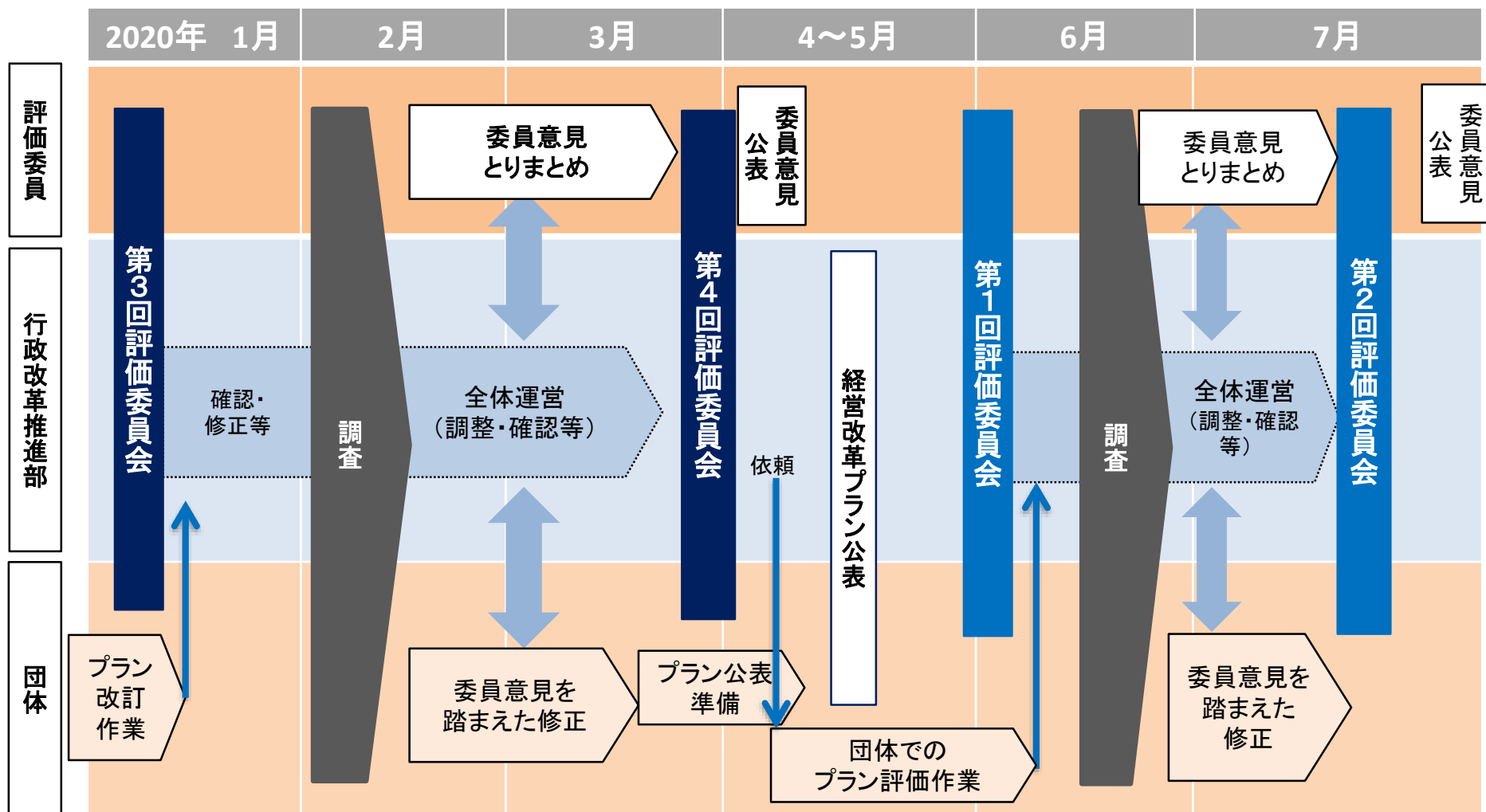


政策連携団体 経営目標評価制度

- ・政策連携団体自ら経営に関する目標を設定し、都が評価する仕組み
- ・2018年度から「経営改革プラン」を評価対象として進捗管理

「経営改革プラン」の改訂 (2020年度目標設定)

「経営改革プラン」の評価 (2019年度評価)



- これまでの実績等を踏まえ、経営改革プラン最終年度（2020年度）に向けた改訂を実施
- プランが自己目的化して経営改革の取組が矮小化しないよう、引き続き、戦略・個別取組事項を見直し

様式 1

1 / 1

「経営改革プラン」改訂シート

改訂年度：2020年度

団体名： _____

経営課題	①：
戦略	①：
3年後(2020年度)の到達目標	
実績(2019年11月末時点)及び要因分析	

評価委員から頂きたいご意見

- 到達目標の実現に向け、進捗や状況変化等を踏まえ、必要な見直しが行なわれているか
- 必要性・緊急性の高いものについて取組を加速するなど、メリハリがついているか
- 成果（アウトカム）目標を、定量・定性の両面から具体的に設定しているか
- マクロの視点から、団体経営上の優先順位等も踏まえ、改訂が行なわれているか 等

個別取組事項	2018年度実績	2019年度	目標達成	2019年11月末時点		改訂		
				実績値	要因分析	個別取組事項	2020年度	改訂の考え方 (新規の場合は、取組設定の考え方)
			○					
								改訂部分

- 2020年度の目標を達成済、もしくは達成する可能性の高いものはさらに高い目標を設定
- 決まったことを引き続き実施していただくもの等は削除

実績値に対して、団体の努力がどのように発揮され、どのような成果が上がったのかについての自己分析

実績値や取組プロセスの分析を踏まえ、個別取組事項等を改訂

(参考) 今回の改訂において拡充を図る事項

◎新たな都政課題等への対応

新たな都政課題に対応して、経営改革プランに反映すべき視点について整理し、取組の新設・拡充を促進

経営改革プランに反映すべき視点

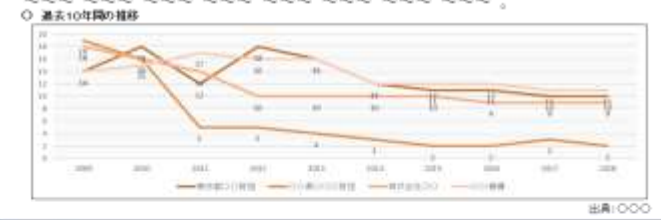
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会レガシーの創出・活用
- 持続可能な開発目標 (SDGs)
- 地方との共存共栄 (東京と全国各地の連携)
- Society 5.0の実現 (キャッシュレスの推進、オープンデータの活用促進、5Gネットワークの構築、AI、IoTの活用など)
- 民間等との連携 (外部リソースの活用)
- オープンイノベーションの推進
- 政策連携団体間の連携
- コーポレートガバナンス

◎他団体や民間企業等との比較 (ベンチマーク)

市場の動き、競合団体、同種サービスの状況等をとらえ、外部環境の変化を意識するため、都以外の自治体の外郭団体、類似の事業を行う民間企業等との比較分析を実施

2 他団体や民間企業等との比較 (ベンチマーク)

表1



分析1

~~~~~

~~~~~

~~~~~

表2



分析2

~~~~~

~~~~~

~~~~~